

基本目標3 地域経済を活性化し、安心して働ける魅力的な雇用の場を創出する【しごと】

施策名	No	実施計画事業名称	担当課	ページ
2-1 自然の恵みを生かした農林水産業の振興	1	水産業振興事業	産業振興課	116
	2	水産業振興事業	産業振興課	117
	3(1)	鳥獣被害防止対策支援事業	産業振興課	118
	3(2)	ひろしま給食地産地消促進事業	産業振興課	119
	4	農業次世代人材育成投資事業	産業振興課	120
	5	農業振興事業(農産物などのブランド化・商品開発支援)	産業振興課	121
2-2 地域経済の元気と成長を支える商工業の振興	1	商工振興事業	産業振興課	122
	2	工業用水道設備維持管理事業	上下水道局	123
	3	中小企業経営安定支援事業	産業振興課	124
	4	商店街等振興奨励事業	産業振興課	125
2-3 にぎわいと交流を生む観光の振興	1(1)	観光宣伝等事業	産業振興課	126
	1(2)	広報事業	企画財政課	127
2-4 暮らしの基盤となる雇用促進と労働者・消費者支援	1	勤労者生活等支援事業	産業振興課	128
3-4 まちの産業と物流を支える港湾・漁港の整備	1	港湾施設管理事業	土木課	129
	2	漁港施設維持管理事業	土木課	130

【2-1 自然の恵みを生かした農林水産業の振興】

4年間で実現したい姿		水産基盤の整備やハマチのブランド化の成功による販路拡大、水産関連イベントの来場者数の増加などにより、水産物の漁獲量や収入が増加し、水産業に活気生まれています。					
KPI (重要業績評価指標)	【KPIの考え方】 市場の需要に合わせた供給を確立させるためには、漁獲量を増加させることが重要です。	現状値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	目標値 (R5)
海面漁業漁獲量		3,647t (平成29年度)	3,445t (平成30年度)	2,857t (令和元年度)	/	/	3,652t
KPI (重要業績評価指標)	【KPIの考え方】 あたたハマチtoレモンの販路を拡大させ、漁業者の経営安定と収入増につなげるためには、魚価を向上させることが重要です。	現状値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	目標値 (R5)
あたたハマチtoレモンの価格		900円/kg	1,000円/kg	1,100円/kg	/	/	1,200円/kg
【実施計画事業】					担当課		
1・2 水産業振興事業					産業振興課		
4年間で実現したい姿		地域住民と関係団体、市が連携し、農業の担い手育成や農地・農業環境の整備保全、特産品の開発などが進み、農村部に活気生まれています。					
KPI (重要業績評価指標)	【KPIの考え方】 農業を振興していくには、新規就農者が増えることで、農業の担い手が確保され、農地の保全が進むことが重要です。	現状値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	目標値 (R5)
新規就農者数(累計)		0人	0人	0人	/	/	1人
【実施計画事業】					担当課		
3(1) 鳥獣被害防止対策支援事業					産業振興課		
3(2) ひろしま給食地産地消促進事業					産業振興課		
4 農業次世代人材育成投資事業					産業振興課		
5 農業振興対策事業(農産物などのブランド化・商品開発支援)					産業振興課		

【2-2 地域経済の元気と成長を支える商工業の振興】

4年間で実現したい姿		市の主要産業である素材型産業を担う大手企業が堅調な経営によってまちの発展を支えています。中小企業は経営が安定し、新たに起業・創業する人が増えています。商店などは新たな社会環境に適応した経営を行っています。					
KPI (重要業績評価指標)	【KPIの考え方】 大手企業や中小企業、商店などへの支援を行うことで、人口が減少する中でも、市内の事業数が大幅に減少しないことが重要です。	現状値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	目標値 (R5)
市内事業所数の減少率		△3.2%	—	—	/	/	△3%以内
【実施計画事業】					担当課		
1 商工振興事業					産業振興課		
2 工業用水道設備維持管理事業					上下水道局		
3 中小企業経営安定支援事業					産業振興課		
4 商店街等振興奨励事業					産業振興課		

【2-3 にぎわいと交流を生む観光の振興】

4年間で実現したい姿		魅力あるスポットや商品が市内外に周知され、観光客や市内消費が増加し、産業の振興と地域の活性化につながっています。					
KPI (重要業績評価指標)	【KPIの考え方】 観光産業の振興のためには、観光客数の増加が重要です。市に訪れる方が増えることで、市の魅力を市外の方に周知し、市に関心を持ってもらえます。	現状値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	目標値 (R5)
市内観光客数 (1月～12月)		470,318人	378,791人	280,529人			520,000人
【実施計画事業】					担当課		
1(1) 観光宣伝等事業					産業振興課		
1(2) 広報事業					企画財政課		

【2-4 暮らしの基盤となる雇用促進と労働者・消費者支援】

4年間で実現したい姿		働きやすい環境づくりに取り組む企業が増え、一人ひとりのライフスタイルなどに合った働き方ができる市民が増えています。企業も従業員が確保でき、経営が安定しています。					
KPI (重要業績評価指標)	【KPIの考え方】 働き方改革によって経営の効率化が図られることで、求人と求職のバランスが取れ、雇用増につながる事が重要です。	現状値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	目標値 (R5)
新規求人数に対する新規求職者数の年間割合		1.48	1.12	1.23			1倍以上 2倍
【実施計画事業】					担当課		
1 勤労者生活等支援事業					産業振興課		

【3-4 まちの産業と物流を支える港湾・漁港の整備】

4年間で実現したい姿		港湾施設・漁港施設の利便性が保たれ、効率的で安全な施設利用が可能になっています。					
KPI (重要業績評価指標)	【KPIの考え方】 大竹港の整備によって利便性が高まり、取扱貨物量が増加すると、市内産業の活性化に繋がります。	現状値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	目標値 (R5)
大竹港で取り扱う貨物の量		145万t	123万t	140万t (速報値)			160万t
【実施計画事業】					担当課		
1 港湾施設管理事業					土木課		
2 漁港施設維持管理事業					土木課		

【2-1 自然の恵みを生かした農林水産業の振興】



実施計画事業 1

事業名	水産業振興事業				担当課	産業振興課
根拠法令				関連計画		
取組の方針	<p>●根付魚を中心とした種苗の放流への補助や漁礁、藻場造成、底質改善などの水産基盤整備により、漁獲量や魚価の向上と市場の需要に合わせた供給を目指します。</p> <p>●おたけ水産GOGO市や、おたけカキ水産まつりなどを、大竹市の水産物の販売促進及びPRの場とらえ、積極的な情報発信による来場者の増加に取り組めます。</p>			概要	<p>大竹市漁業振興対策協議会へ、補助金を交付します。</p> <p>大竹市漁業振興対策協議会は、大竹市近海に根付魚の種苗の放流を行います。</p>	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
事業費(千円)	1,227	1,227	1,809	6,227	1,227	
財源内訳	国県費	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	1,227	1,227	1,809	6,227	1,227
【事業指標】種苗放流量						
目標値		ガザミ15,000尾 キジハタ15,500尾 オニオコゼ25,000尾 アサリ300kg	ガザミ15,000尾 キジハタ15,500尾 オニオコゼ25,000尾 アサリ300kg	ガザミ15,000尾 キジハタ15,500尾 オニオコゼ25,000尾 アサリ300kg	ガザミ15,000尾 キジハタ15,500尾 オニオコゼ25,000尾 アサリ300kg	ガザミ15,000尾 キジハタ15,500尾 オニオコゼ25,000尾 アサリ300kg
実績値	ガザミ15,000尾 キジハタ15,500尾 オニオコゼ25,000尾 アサリ300kg	ガザミ20,000尾 キジハタ12,000尾 オニオコゼ13,800尾				
取組内容	大竹市漁業振興対策協議会へ補助金の交付を行いました。	大竹市漁業振興対策協議会へ補助金の交付を行いました。	大竹市漁業振興対策協議会へ補助金の交付を行います。 また、牡蠣殻一時堆積場工事事前調査を行います。	大竹市漁業振興対策協議会へ補助金の交付を行います。 また、牡蠣殻一時堆積場の工事を行います。	大竹市漁業振興対策協議会へ補助金の交付を行います。	大竹市漁業振興対策協議会へ補助金の交付を行います。

市としての評価

- ・種苗放流は、対象魚種を検討しながら計画的に放流を行っていく予定であるが、おたけ水産GOGO市に対象魚種が水揚げされて販売されていることから、一定の効果は表れている。
- ・漁業施設の老朽化が進んでおり、今後対策が必要となる。
- ・「水産資源の確保」のため、引き続き種苗放流やおたけ水産GOGO市のPRに取り組むとともに、については、漁業の基盤となる漁業振興施設などの整備については、漁業関係者からの要望なども踏まえながら今後の対応を検討していく。

【2-1 自然の恵みを生かした農林水産業の振興】



実施計画事業 2

事業名	水産業振興事業				担当課	産業振興課	
根拠法令				関連計画			
取組の方針	●市内だけでなく市外も視野に入れて、価格を一定水準に保ちながら販路を拡大します。 ●生産コストの低減に向けて、新たな養殖業者が参入できるような仕組みづくりに取り組みます。			概要	生産者や漁協などと連携して、あたたハマチtoレモンの販路の維持などを行います。		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
事業費(千円)	0	0	0	0	0		
財源内訳	国県費	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	0	0	0	0	0	
【事業指標】 あたたハマチtoレモンの生産尾数							
目標値		3,000匹	3,000匹	3,500匹	4,000匹		
実績値	3,000匹	1,500匹					
取組内容	<input type="checkbox"/> 市ホームページなどでのPRを行いました。 <input type="checkbox"/> 即売会を実施しました。 <input type="checkbox"/> 県内給食への出荷支援を行いました。	<input type="checkbox"/> 市ホームページなどでのPRを行いました。 <input type="checkbox"/> 即売会を実施しました。 <input type="checkbox"/> 県内給食への出荷支援を行いました。	<input type="checkbox"/> 市ホームページなどでのPRを行います。 <input type="checkbox"/> 即売会を実施します。 <input type="checkbox"/> 県内給食への出荷支援を行います。	<input type="checkbox"/> 市ホームページなどでのPRを行います。 <input type="checkbox"/> 即売会を実施します。 <input type="checkbox"/> 県内給食への出荷支援を行います。	<input type="checkbox"/> 市ホームページなどでのPRを行います。 <input type="checkbox"/> 即売会を実施します。 <input type="checkbox"/> 県内給食への出荷支援を行います。		

市としての評価

- ・令和3年度は赤潮被害の影響であたたハマチtoレモンの出荷量が半減した。令和4年度は目標どおりの生産を目指す。生産業者が1業者であるため、生産量の拡大及び担い手の確保が課題となっている。
- ・引き続き商品のPRに努めるとともに、大竹市内の小中学校や他市の給食センターへの出荷を行うほか、おおたけ水産GOGO市での販売も継続する。

【2-1 自然の恵みを生かした農林水産業の振興】



実施計画事業 3(1)

事業名	鳥獣被害防止対策支援事業			担当課	産業振興課	
根拠法令	鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律	関連計画	第5期大竹市鳥獣被害防止計画			
取組の方針	鳥獣被害対策や耕作放棄地調査を行い、農地の保全や、利用権設定の促進などによる有効活用に取り組みます。	概要	農地の鳥獣被害防止のため有害鳥獣駆除に報奨金を支払います。また柵を設置する場合に補助します。			
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
事業費(千円)	1,739	2,162	3,202	3,202	3,202	
財源内訳	国県費	0	0	600	600	600
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	1,739	2,162	2,602	2,602	2,602
【事業指標】 イノシシによる農作物被害額(千円)						
目標値		290	285	280	275	
実績値	377	222				
取組内容	<p>猟期における猪の捕獲に報奨金を支払ったり、鳥獣対策として農地に柵などを設置する場合には、補助金を出しました。また、これらに関して市広報や市ホームページで周知などを行いました。</p> <p>報奨金と柵などの設置補助件数は、次のとおりです。</p> <p>報奨金 147頭(野猪)</p> <p>柵などの設置補助 42件</p>	<p>猟期における猪の捕獲に対して報奨金を支払いや、鳥獣対策として農地に柵などを設置する場合には補助金を出しました。また、これらに関して市広報や市ホームページで周知などを行いました。</p>	<p>猟期における猪の捕獲のほか、有害鳥獣の捕獲に対して報奨金を支払ったり、狩猟免許の取得や鳥獣対策として農地に柵などを設置する場合には補助金を交付します。また、これらに関して市広報や市ホームページで周知などを行います。</p>	<p>猟期における猪の捕獲のほか、有害鳥獣の捕獲に対して報奨金を支払ったり、狩猟免許の取得や鳥獣対策として農地に柵などを設置する場合には補助金を交付します。また、これらに関して市広報や市ホームページで周知などを行います。</p>	<p>猟期における猪の捕獲のほか、有害鳥獣の捕獲に対して報奨金を支払ったり、狩猟免許の取得や鳥獣対策として農地に柵などを設置する場合には補助金を交付します。また、これらに関して市広報や市ホームページで周知などを行います。</p>	

市としての評価

- ・鳥獣対策用の柵の設置に対する補助を継続して行い、令和3年度は被害額が減少し、目標値を上回った。引き続き設置補助を行っていく。
- ・狩猟免許の取得は、新型コロナウイルスの影響で令和3年度は実績がなく、令和4年度も現時点での申請者はいない。引き続き制度周知に努める。
- ・柵の設置の普及で被害額自体が減少している一方、市街地などへのクマやイノシシなどの出没相談は多いため、有害鳥獣捕獲の体制づくりや処分対策が課題となっている。今後は、効果的な有害鳥獣対策に向けて庁内での対応体制の構築を検討していく。

【2-1 自然の恵みを生かした農林水産業の振興】



実施計画事業 3(2)

事業名	ひろしま給食地産地消促進事業				担当課	産業振興課	
根拠法令				関連計画			
取組の方針	生産者の意欲向上や収入増により地産地消を促進するため、給食センターへの出荷を行います。			概要	毎月の給食会議に参加するとともに、マロンの里を拠点として、生産者への呼びかけなどにより、給食センターへの出荷量を増やします。		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
事業費(千円)	0	0	0	0	0		
財源内訳	国県費	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	0	0	0	0	0	
【事業指標】 給食センターへの年間出荷回数							
目標値		100回	120回	140回	160回		
実績値	74回	52回					
取組内容	<input type="checkbox"/> 給食センターへ地場産の野菜などを出荷しました。 <input type="checkbox"/> 生産者への呼びかけを行いました。	<input type="checkbox"/> 給食センターへ地場産の野菜などを出荷しました。 <input type="checkbox"/> 生産者への呼びかけを行いました。	<input type="checkbox"/> 給食センターへ地場産の野菜などを出荷します。 <input type="checkbox"/> 生産者への呼びかけを行います。	<input type="checkbox"/> 給食センターへ地場産の野菜などを出荷します。 <input type="checkbox"/> 生産者への呼びかけを行います。	<input type="checkbox"/> 給食センターへ地場産の野菜などを出荷します。 <input type="checkbox"/> 生産者への呼びかけを行います。		

市としての評価

- ・毎月市内小中学校の給食会議に参加しながら、地場産物の給食への出荷を続けているが、出荷者が限られており、出荷回数自体が減少している。
- ・今後は、給食に出荷する規格や数量などの情報提供を行い、引き続き出荷者や出荷量が増えるよう啓発などを行っていく。

【2-1 自然の恵みを生かした農林水産業の振興】



実施計画事業 4

事業名	農業次世代人材育成投資事業			担当課	産業振興課
根拠法令	農業経営基盤強化促進法		関連計画	農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想	
取組の方針	栗谷町と松ヶ原町の住民の意向を把握し、方向性を共有しながら、それぞれの集落に合わせた「人・農地プラン」の策定を目指します。		概要	集落単位で座談会を開催することにより、将来的な課題を皆で共有し、解決するための「人・農地プラン」の策定を進めます。	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費(千円)	0	6	1,500	1,500	1,500
財源内訳	国県費	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	0	6	1,500	1,500
【事業指標】 人・農地プランの策定数(累計)					
目標値		1	1	1	1
実績値	0	0			
取組内容	次の地区で座談会を開催しました。大栗林地区で3回。小栗林地区で3回。	次の地区で座談会等を開催しました。大栗林地区(検討委員会)で2回。小栗林地区で1回。松ヶ原地区で2回。"チャレンジ"女性農業者育成研修を受講した1名に対して支援を行いました。	□座談会を開催しません。大栗林・小栗林地区・松ヶ原地区を予定しています。□新規中心経営体などへの支援を行います。	□座談会を開催しません。地区は未定です。□新規中心経営体などへの支援を行います。	□座談会を開催しません。地区は未定です。□新規中心経営体などへの支援を行います。

市としての評価

- ・プラン作成に向けた座談会などは開催されているが、作成には至っておらず、地域全体で課題意識を共有することが重要である。引き続き各集落で座談会などを開催し、課題の共有を進めながらプラン作成を促す。
- ・令和5年度以降、制度改正により、農業次世代人材育成投資事業から、経営の発展まで総合的に支援する新規就農者育成総合対策事業に移行したため、改正趣旨に沿った取組を行っていく。(施策の考え方に変更はなく、経営開始の支援のほか、経営発展の支援も行うようになった。)
- ・令和5年度以降、法改正により「人・農地プラン」から「地域計画」へと変更になったため、改正趣旨に沿った取組を行っていく。

【制度改正の趣旨】

これまで地域での話し合いで「人・農地プラン」を作成・実行していきが、今後、高齢化や人口減少の本格化により農業者の減少や耕作放棄地が拡大し、地域の農地が適切に利用されなくなることが懸念される中、農地が利用されやすくなるよう、農地の集約化などに向けた取組を加速化することが喫緊の課題になっている。そのため、「人・農地プラン」を法定化し、地域での話し合いにより目指すべき将来の農地利用の姿を明確化する「地域計画」を定め、それを実現するべく、地域内外から農地の受け手を幅広く確保しつつ、農地バンクを活用した農地の集約化などを進める。主な変更点は、これまで地域が主体となっていた「人・農地プラン」から、市が主体的に関わりながら作成する「地域計画」へと変更となった。

【2-1 自然の恵みを生かした農林水産業の振興】



実施計画事業 5

事業名	農業振興対策事業 (農産物などのブランド化・商品開発支援)				担当課	産業振興課
根拠法令					関連計画	
取組の方針	地元産品のブランド化や商品開発を進めるとともに、安定した生産・販売体制を構築し、マロンの里の集客増・収入増につなげます。			概要	マロンの里の新商品のPRを行うとともに、安定した生産・販売体制を整えます。	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
事業費(千円)	8,000	0	0	0	0	
財源内訳	国県費	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	
	その他	8,000	0	0	0	
	一般財源	0	0	0	0	
【事業指標】新たに開発された商品数						
目標値		1商品	1商品	1商品	1商品	
実績値	4商品	1商品				
取組内容	マロンの里を元気にする協議会に対して、農作物などのブランド化や商品開発に対する支援を行いました。	マロンの里に関する市内団体など意見交換をしていき商品開発に取り組みました。	マロンの里に関する市内団体などに対して、農作物などのブランド化や商品開発に対する支援を行います。	マロンの里に関する市内団体などに対して、農作物などのブランド化や商品開発に対する支援を行います。	マロンの里に関する市内団体などに対して、農作物などのブランド化や商品開発に対する支援を行います。	

市としての評価

- ・マロンの里の収益増や知名度向上につなげるため、商品を製造するグループとの意見交換を通じて、商品のPRや新たな商品開発を行った。和栗のテリーヌなど栗関係の商品は好評を博しているが、生産体制上、大量製造は見込めない状況にある。
- ・引き続き、開発した商品のPRや販売促進に取り組み、マロンの里の収益増や知名度向上を図る。

【2-2 地域経済の元気と成長を支える商工業の振興】



実施計画事業 Ⅰ

事業名	商工振興事業		担当課	産業振興課	
根拠法令	大竹市産業振興奨励条例 大規模小売店舗立地法 大竹市附属機関設置に関する条例	関連計画			
取組の方針	既存事業の業務拡張や改善、新たな企業進出などに向けて、関係機関と連携しながら、効果的な施策を検討し、実施します。	概要	産業振興審議会や中小企業融資審査委員会、大規模小売店舗立地協議会などの運営を行います。また、固定資産税課税標準額の増加に応じた産業振興奨励金の交付やキャッシュレスなどの商工業におけるデジタル化の推進を行います。		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費(千円)	287,125	313,397	7,173	24,000	60,000
財源内訳	国県費	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	287,125	313,397	7,173	24,000
【事業指標】 令和元年度からの産業振興奨励金措置指定件数(累計)					
目標値		10件	13件	16件	20件
実績値	7件	9件			
取組内容	次のことを行いました。 □産業振興審議会の実施 □キャッシュレス推進事業(PAYPAYのポイント戻し) □キャッシュレス講座の実施 □新型コロナウイルス感染症対策事業(大竹市クーポン券発行等事業)の実施	次のことを行いました。 □産業振興奨励金の交付 □産業振興審議会の実施 □新型コロナウイルス感染症対策事業(大竹市クーポン券発行等事業)の実施	次のことを行います。 □産業振興奨励金の交付 □産業振興審議会の実施 □キャッシュレス推進事業(キャッシュレス講座)の実施	次のことを行います。 □産業振興奨励金の交付 □産業振興審議会の実施	次のことを行います。 □産業振興奨励金の交付 □産業振興審議会の実施

市としての評価

- ・新型コロナウイルス感染症対策事業として、大竹市クーポン券等発行事業（コイちゃんクーポン事業）を実施した。令和4年度もコイちゃんクーポン事業を実施しており、今後も新型コロナウイルスの影響を踏まえながら、必要に応じて適切な支援策を検討していく。
- ・固定資産税課税標準額の増加に応じて交付する産業振興奨励金は、毎年度数件程度の措置指定申請があるが、企業が新たな進出や施設を拡充できる一定規模の土地がなく、大きな設備投資などが見込めないことが課題となっている。今後は、企業が活用できる市有地や県有地の可能性を検討していく。

【2-2 地域経済の元気と成長を支える商工業の振興】



実施計画事業 2

事業名	工業用水道設備維持管理事業			担当課	上下水道局	
根拠法令	工業用水道事業法	関連計画	大竹市工業用水道事業経営戦略			
取組の方針	施設の老朽化に伴う更新費用の増加を踏まえながら、効率的に施設の改良・更新・耐震化に取り組みます。		概要	「大竹市工業用水道事業経営戦略」に基づき、施設の改良・更新を行います。		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
事業費(千円)	591,331	491,716	404,656	369,070	393,453	
財源内訳	国県費	0	0	0	0	
	地方債	200,400	158,100	64,700	31,200	64,000
	その他	16,900	0	1	616	616
	一般財源	374,030	333,616	339,955	337,254	328,837
【事業指標】 給水を制限・停止した件数(天災地変など止むを得ない場合を除く。)						
目標値		0件	0件	0件	0件	
実績値	0件	0件				
取組内容	受水企業に安定的に給水できるよう、防鹿水源地や工業用水道取水などの維持管理を行いました。 □送水ポンプなどの修繕 □送水ポンプ電動機などの修繕など	施設の修繕や維持を行います。 □送水ポンプ補修 □ポンプ室補修など	施設の修繕や維持を行います。 □送水ポンプ室補修。 □小瀬川河床整備。など	施設の維持修繕工事、改築更新工事を行います。	施設の維持修繕工事改築更新工事を行います。	

市としての評価

・近年、給水を制限・停止した事案はないものの、工業用水道施設の老朽化が進んでおり、計画的な改良・更新が必要となっている。引き続き工業用水道施設の維持管理を適切に行うとともに、老朽化した施設の計画的な改良、更新工事を行い、工業用水の安定供給に努める。

【2-2 地域経済の元気と成長を支える商工業の振興】

実施計画事業 3



事業名	中小企業経営安定支援事業		担当課	産業振興課		
根拠法令	中小企業等経営強化法 産業競争力強化法 大竹市中小企業融資資金条例	関連計画	経営発達支援計画 同意導入促進基本計画 認定創業支援等事業計画			
取組の方針	●関係機関との連携を強化し、中小企業の実態や課題、ニーズを的確に把握しながら、効果的な施策を検討し、実施します。 ●創業希望者に対し、経営・財務・人材育成・販路開拓などの創業支援を行います。		概要	中小企業の経営の維持・発展のための商品開発、販路拡大、経営相談や融資などの支援事業を行います。		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
事業費(千円)	196,406	139,201	180,491	185,491	185,491	
財源内訳	国県費	0	340	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	170,000	133,000	175,000	180,000	180,000
	一般財源	26,406	5,861	5,491	5,491	5,491
【事業指標】 大竹市中小企業人材育成事業助成金の交付対象講習の受講者人数(累計)						
目標値		54人	76人	98人	120人	
実績値	32人	56人				
取組内容	次のことを行いました。 <input type="checkbox"/> 中小企業融資の実施 <input type="checkbox"/> セーフティネット保証及び危機関連保証の認定 <input type="checkbox"/> 中小企業人材育成事業の実施 <input type="checkbox"/> 新型コロナウイルス感染症対策事業(事業継続支援金・大竹市雇用調整助成金等受給サポート補助金・飲食店応援事業相談員の派遣事業など)の実施	次のことを行いました。 <input type="checkbox"/> 中小企業融資の実施 <input type="checkbox"/> セーフティネット保証及び危機関連保証の認定 <input type="checkbox"/> 中小企業人材育成事業の実施 <input type="checkbox"/> 新型コロナウイルス感染症対策事業(相談員の派遣事業など)の実施	次のことを行います。 <input type="checkbox"/> 中小企業融資の実施 <input type="checkbox"/> セーフティネット保証の認定 <input type="checkbox"/> 中小企業人材育成事業の実施 <input type="checkbox"/> 地域経済活性化事業補助金の交付(①商品開発・改良、②販路拡大、③創業支援)	次のことを行います。 <input type="checkbox"/> 中小企業融資の実施 <input type="checkbox"/> セーフティネット保証の認定 <input type="checkbox"/> 中小企業人材育成事業の実施 <input type="checkbox"/> 地域経済活性化事業補助金の交付(①商品開発・改良、②販路拡大、③創業支援、④商品開発改良の継続事業)	次のことを行います。 <input type="checkbox"/> 中小企業融資の実施 <input type="checkbox"/> セーフティネット保証の認定 <input type="checkbox"/> 中小企業人材育成事業の実施 <input type="checkbox"/> 地域経済活性化事業補助金の交付(①商品開発・改良、②販路拡大、③創業支援、④商品開発改良の継続事業)	

市としての評価

- ・中小企業人材育成事業は、資格の更新は毎年ではないため受講者数に毎年増減がみられるが、引き続き市広報、HP、商工会議所会報誌に掲載するなど周知を行い、中小事業者における人材育成を図っていく。
- ・コロナ禍での事業転換に係る専門知識を有する相談員の派遣や、国が実施するセーフティネット保証や危機関連保証に基づく有利な中小企業融資、広島県と連携した雇用調整助成金受給サポート支援金事業など、新型コロナウイルス感染症対策事業として中小事業者の支援を行っているため、中小企業融資における新規融資額は大きく減少している。
- ・「地域経済活性化事業補助金」を創設し、ふるさと納税の返礼品の増加につながるような商品開発・改良及び創業に取り組む事業者を支援している。
- ・経済産業大臣の認定を受けた「経営発達支援計画」を大竹商工会議所と共同作成し、さらなる中小企業の育成・支援に向けて大竹商工会議所と連携しながら、引き続きこれらの中小企業経営安定に向けた取組を進めていく。

【2-2 地域経済の元気と成長を支える商工業の振興】

実施計画事業 4



事業名	商店街等振興奨励事業				担当課	産業振興課
根拠法令					関連計画	
取組の方針	新たな社会環境に適応した個性的で魅力ある商店街などの創出に向けて、関係機関と連携して支援を行います。			概要	商店街などの団体が実施する事業に対して経費の一部を助成する事業や、共同設置した施設の維持管理に要する経費の一部を助成します。	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
事業費(千円)	2,278	1,803	2,481	2,481	2,481	
財源内訳	国県費	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	2,278	1,803	2,481	2,481	2,481
【事業指標】市内の商店街や商業者が連携して取り組む事業件数(累計)						
目標値		17件	19件	21件	23件	
実績値	12件	14件				
取組内容	次のことを行いました。 <input type="checkbox"/> 商業活性化事業補助金の交付 <input type="checkbox"/> 商業共同施設管理事業補助金の交付 <input type="checkbox"/> 大竹市商店街連合会補助金の交付。 <input type="checkbox"/> 商業者連携チャレンジ事業の実施	次のことを行いました。 <input type="checkbox"/> 商業活性化事業補助金の交付 <input type="checkbox"/> 商業共同施設管理事業補助金の交付 <input type="checkbox"/> 大竹市商店街連合会補助金の交付。 <input type="checkbox"/> 商業者連携チャレンジ事業の実施	次のことを行います。 <input type="checkbox"/> 商業活性化事業補助金の交付 <input type="checkbox"/> 商業共同施設管理事業補助金の交付 <input type="checkbox"/> 大竹市商店街連合会補助金の交付	次のことを行います。 <input type="checkbox"/> 商業活性化事業補助金の交付 <input type="checkbox"/> 商業共同施設管理事業補助金の交付 <input type="checkbox"/> 大竹市商店街連合会補助金の交付	次のことを行います。 <input type="checkbox"/> 商業活性化事業補助金の交付 <input type="checkbox"/> 商業共同施設管理事業補助金の交付 <input type="checkbox"/> 大竹市商店街連合会補助金の交付	

市としての評価

- ・新型コロナウイルスの影響で、土曜夜市などの集客イベントなどが実施できず、商店街や商業者が連携して取り組んだ事業件数は2件に留まり、累計の目標値を下回った。今後の新型コロナウイルスの感染拡大状況や燃料高騰化の状況によっては、補助事業が実施できないおそれがある。
- ・引き続き関係団体や事業者と連携しながら、補助事業を継続し、商店街や商業者の支援に努める。

【2-3 にぎわいと交流を生む観光の振興】



実施計画事業 1(1)

事業名	観光宣伝等事業				担当課	産業振興課	
根拠法令				関連計画			
取組の方針	●関係機関と連携した市内の観光資源や観光ルートの開発促進などに取り組みます。 ●広島市を中心とした広島広域都市圏域での連携も含めて、時代に合わせた効果的な情報発信を行うことで、大竹の魅力発信と知名度の向上に取り組みます。 ●「大竹生まれ商品登録制度」に登録された商品のPRに取り組みます。			概要	観光雑誌などへの情報提供や商業施設などでの観光PR、大竹生まれの商品のPRを行います。		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
事業費(千円)	3,942	2,658	5,654	7,154	5,654		
財源内訳	国県費	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	3,942	2,658	5,654	7,154	5,654	
【事業指標】大竹生まれ商品の登録数(累計)							
目標値		18	24	25	26		
実績値	5	24					
取組内容	次のことを行いました。 <input type="checkbox"/> 観光PRポスターやパンフレットの作成 <input type="checkbox"/> 関係機関と連携した観光PR	次のことを行いました。 <input type="checkbox"/> 観光や大竹生まれ商品のPRポスター・パンフレットの作成 <input type="checkbox"/> 関係機関と連携した観光や大竹生まれ商品のPR	次のことを行います。 <input type="checkbox"/> 観光や大竹生まれ商品のPRポスター・パンフレットの作成 <input type="checkbox"/> 関係機関と連携した観光や大竹生まれ商品のPR	次のことを行います。 <input type="checkbox"/> 観光や大竹生まれ商品のPRポスターの作成やパンフレットの作成 <input type="checkbox"/> 関係機関と連携した観光や大竹生まれ商品のPR	次のことを行います。 <input type="checkbox"/> 観光や大竹生まれ商品のPRポスター・パンフレットの作成 <input type="checkbox"/> 関係機関と連携した観光や大竹生まれ商品のPR		

市としての評価

・大竹市内で作られた商品をPRするため「大竹生まれ商品登録制度」を創設し、令和4年度現在、13業者33品目が登録されている。引き続き登録数の増加に取り組む。

・新型コロナ禍で観光産業に大きな影響が生じているが、観光パンフレットなどを市役所、各支所、各公民館、広島港、ジアウトレット広島、佐伯区役所に設置し観光PRに努めた。魅力のある観光資源はあるものの、観光バスの駐車場や土産店、飲食店、宿泊施設など、観光地としての整備が十分でないこともあり、訪れても消費につながらない現状がある。今後、晴海臨海公園沖の美術館など新たな観光スポットも生まれることから、新たな魅力を生かした市のPRを検討する必要がある。

【2-3 にぎわいと交流を生む観光の振興】



実施計画事業 1(2)

事業名	広報事業				担当課	企画財政課	
根拠法令				関連計画			
取組の方針	●広島市を中心とした広島広域都市圏域での連携も含めて、時代に合わせた効果的な情報発信を行うことで、大竹の魅力発信と知名度の向上に取り組みます。 ●「大竹生まれ商品登録制度」に登録された商品のPRに取り組みます。 ●「大好き大竹応援大使」を活用した、市外へのPRに取り組みます。			概要	毎月の市広報紙の発行や、市ホームページ・SNSなどでの情報発信により、市民などへ市政などに関する情報を提供します。また、市外へも市政などの情報を発信し、PRに取り組み大竹の知名度を上げます。		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
事業費(千円)	13,429	14,050	18,997	15,000	14,400		
財源内訳	国県費	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	3,840	795	989	800	800	
	一般財源	9,589	13,255	18,008	14,200	13,600	
【事業指標】 情報発信媒体数(広報・ホームページ・SNS・動画配信サイトなど)							
目標値		4媒体	5媒体	6媒体	6媒体		
実績値	4媒体	4媒体					
取組内容	毎月広報紙を発行し全戸配布しました。また、フェイスブックにて、市に関する話題を提供し、市ホームページで、詳細な情報を提供しました。さらに、ケーブルテレビで市に関する情報を放送しました。	毎月広報紙を発行し全戸配布しました。また、フェイスブックにて、市に関する話題を提供し、市ホームページで、詳細な情報を提供しました。さらに、ケーブルテレビで市に関する情報を放送しました。	新たな情報発信媒体も含めて情報発信の強化・情報の充実化・多様化を進めます。また、関係課と連携しながらシティプロモーションの実施についても検討します。 市民だけでなく市外の人も情報を入手しやすい市ホームページのシステムを変更します。 市広報紙・ケーブルテレビについては、これまでと同様に継続していきます。	新たな情報発信媒体も含めて情報発信の強化・情報の充実化・多様化を進めます。また、関係課と連携しながらシティプロモーションを実施します。 市民だけでなく市外の人も情報を入手しやすい市ホームページの運用と情報の充実に取り組みます。 市広報紙・ケーブルテレビについては、これまでと同様に継続していきます。	引き続き、発信する情報の充実化・多様化を進めます。また、関係課と連携し、前年度の取組の検証も含めてシティプロモーションの充実に取り組みます。 市民だけでなく市外の人も情報を入手しやすい市ホームページの運用と情報の充実に取り組みます。 市広報紙・ケーブルテレビについては、これまでと同様に継続していきます。		

市としての評価

- ・現在利用している4つの情報発信媒体（広報紙、ホームページ、フェイスブック、ケーブルテレビ）の各特性にあった情報発信を行った。また各課の創意工夫でYouTubeチャンネルを開設するなど、新たな情報発信媒体の導入も行われているが、市全体としての新規導入検討は進んでいない状況である。
- ・市の情報発信のメインツールのひとつであるホームページが検索しづらい、欲しい情報にたどりつかないなど、活用しづらいなどの課題があり、令和4年度に予定しているホームページのバージョンアップを機に、掲載情報の精査など課題の解決につなげたい。
- ・ホームページと連携して効果的な情報発信ができる媒体の検討を、今後進めていく。

【2-4 暮らしの基盤となる雇用促進と労働者・消費者支援】



実施計画事業 1

事業名	勤労者生活等支援事業				担当課	産業振興課
根拠法令				関連計画		
取組の方針	働きやすい環境づくりに向けて、関係機関と連携して、勤労者の支援や、働き方改革などの啓発に取り組めます。			概要	勤労者の福祉向上を目的とした大竹地区労働祭への補助や、労働金庫への預託による融資、働き方改革セミナーなどを行います。	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
事業費(千円)	120,000	120,000	120,080	120,080	120,080	
財源内訳	国県費	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	120,000	120,000	120,000	120,000	120,000
	一般財源	0	0	80	80	80
【事業指標】 令和元年度からの働き方改革推進セミナーの参加者数(累計)						
目標値		43人	58人	78人	88人	
実績値	33人	33人				
取組内容	次のことを行いました。 □労働金庫の自治体提携融資制度の実施 □働き方改革セミナーを開催	次のことを行いました。 □労働金庫の自治体提携融資制度の実施 □働き方改革セミナーを開催(新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い中止)	次のことを行います。 □労働金庫の自治体提携融資制度の実施 □働き方改革などの周知事業を開催	次のことを行います。 □労働金庫の自治体提携融資制度の実施 □働き方改革などの周知事業を開催	次のことを行います。 □労働金庫の自治体提携融資制度の実施 □働き方改革などの周知事業を開催	

市としての評価

- ・中国労働金庫に預託し、自治体提携融資を実施しており、引き続き継続して行っていく。
- ・働き方改革セミナーを商工会議所と連携して開催しているが、令和3年度は新型コロナウイルスの影響により中止となった。今後は、新型コロナウイルスの感染状況を踏まえながら、働き方改革などを周知するための事業に取り組んでいく。

【3-4 まちの産業と物流を支える港湾・漁港の整備】



実施計画事業 I

事業名	港湾施設管理事業				担当課	土木課
根拠法令					関連計画	
取組の方針	<p>●大竹港東栄地区コンテナヤードの拡張など、利用実態に合わせた施設と管理体制の整備について、関係機関と協議しながら取り組みます。</p> <p>●物流の円滑化を目的とする国道2号を結ぶアクセス道路の早期整備に向け、関係機関に働きかけます。</p>				概要	大竹港の利用促進のため、港湾施設の適正な維持管理を行い、物流の拡充や渋滞緩和のため、国道2号栄橋北詰交差点から大竹港のアクセス道路の早期整備に向け、関係機関に働きかけます。
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
事業費(千円)	37,264	35,587	45,647	45,647	45,647	
財源内訳	国県費	1,533	1,613	7,250	7,250	7,250
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	35,731	33,974	38,397	38,397	38,397
	一般財源	0	0	0	0	0
【事業指標】 アクセス道路に関する事業用地の取得率(事業用地の総面積に対する取得済み用地面積の割合)						
目標値		0%				
実績値	0%	0%				
取組内容	測量調査業務や予備設計業務などを実施し、関係機関との協議を整えました。	詳細設計業務を行っています。 ※事業指標の目標値は、詳細設計にて事業用地総面積が確定した後(用地境界立会終了後)に、設定予定です。	詳細設計完了後、用地測量を行い、用地境界立会などを実施予定。	用地交渉(買収)を行う予定。 工事(終点~No52付近)	用地交渉(買収)を行う予定。 工事(No52~No38付近)	目標値は、事業地総面積確定後設定

市としての評価

- ・大竹港の利用促進に向けた国道2号栄橋北詰交差点からアクセス道路の整備に向け、広島県事業として、詳細設計・用地測量に着手している。長期事業のため、工事完了は令和13年度事業完了予定となるが、現時点ではスケジュールどおり進んでいる。
- ・引き続き、広島県と連携しながら、事業の円滑な進捗に努める。

【3-4 まちの産業と物流を支える港湾・漁港の整備】



実施計画事業 2

事業名	漁港施設維持管理事業				担当課	土木課
根拠法令	漁港漁場整備法	関連計画				
取組の方針	定期点検結果を踏まえた計画的な修繕、更新により、漁港施設を適切に維持管理します。		概要	漁港漁場整備法に基づき、漁港施設の整備・維持修繕や水域管理などを適切に行い、長寿命化を進めます。		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
事業費(千円)	117,721	57,194	23,000	226,000	95,000	
財源内訳	国県費	59,580	28,720	13,800	135,000	
	地方債	40,200	15,300	9,200		
	その他	0	0	0		
	一般財源	17,941	13,174	-	91,000	
【事業指標】 漁港施設で対策が必要な箇所のうち、改修などに着手した箇所数(累計)						
目標値		11箇所	12箇所	14箇所	17箇所	
実績値	8箇所	11箇所				
取組内容	阿多田猪子東浮棧橋修繕、玖波漁港浚渫工事を行いました。	猪子東浮棧橋補修工事、玖波10号物揚場補修工事、玖波漁港照明施設改築更新工事を実施しました。	猪子西浮棧橋補修工事を実施予定です。	東1号浮棧橋改築更新工事、玖波3号防波堤測量実施設計業務を実施予定です。	猪子西浮防波堤補修工事、本浦西浮棧橋補修工事、玖波3号防波堤補修工事を実施予定です。	

令和5年度は概算要望額
令和6年度以降は予算を決め次第入力。

市としての評価

- ・地元の漁業関係者の意見や要望を踏まえながら、老朽化した漁港施設の改修などに取り組んでおり、対策が必要な箇所の工事には計画どおり着手できている。
- ・引き続き、対策が必要な箇所の工事を着実にやり、漁港施設の保全に努める。